

令和 9 年 度

岩手医科大学大学院歯学研究科
博士課程学生募集要項

(一 般 選 抜)

(社会人特別選抜)

岩手医科大学大学院歯学研究科

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19-1

Tel 019-651-5111 (内線 #4118 歯学部教務課)

1. 募集人員 18名

入学志願者は、専攻学科目を第二志望まで選ぶことができる。

専攻	基礎	臨床	募集人員
歯 学 専 攻	口腔解剖学	予防歯科学※	18名 (社会人特別選抜を含む。)
	口腔組織学	歯周療法学※	
	口腔生理学	う蝕治療学※	
	口腔生化学	口腔外科学※	
	口腔病理学	冠橋義歯・口腔インプラント学※	
	口腔微生物学	有床義歯・口腔リハビリテーション学※	
	歯科薬理学	歯科矯正学※	
	歯科理工学	歯科放射線学※	
	法歯学・災害口腔医学	歯科麻酔学※	
		小児歯科学・障害者歯科学※	
		歯科内科学	

(※含 高度臨床歯科医育成コース)

2. 出願資格

- (1) 大学（歯学又は医学の学部）を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は医学及び歯学）を修了した者
- (3) 文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号参照）※
- (4) その他、本大学院が大学（歯学又は医学の学部）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 文部科学大臣の指定した者とは、次の各号の一に該当するものである。

- ① 旧大学令による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ② 防衛庁設置法による防衛医科大学校を卒業した者
- ③ 修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者で、本研究科において医学又は歯学の学部を卒業したもの（医学又は歯学を履修した者に限る。）と同等以上の学力があると認めた者
- ④ 大学（医学、歯学又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学または獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

備 考

- ① 社会人特別選抜に出願できる者は、上記の出願資格のいずれかに該当するもので、本研究科入学時に既に就業しているか又は入学直後に就業することが見込まれる者とする。
- ② 臨床系学科目を志望する者は、歯科医師免許証（医師免許証）を有するか、歯科医師国家試験（医師国家試験）に合格することが望ましい。

3. 出願手続等

(1) 出願期間

前 期	令和8年9月15日(火)～10月14日(水)	17時必着
後 期	令和9年2月 4日(木)～ 3月 4日(木)	17時必着

(2) 出願書類及び検定料

入学志願者は、下記の書類を提出すること。郵送の場合は、必ず「書留」とし、封筒に「大学院・(歯) 入学志願書在中」と朱書すること。

入 学 願 書	本研究科所定用紙
受 験 票	本研究科所定用紙
成 績 証 明 書	出身大学(学部)長の発行するもの ただし、本学卒業(見込)者は不要
志 望 理 由 書	本研究科所定用紙
卒業(見込)証明書	本学卒業(見込)者は不要
写 真 (3 枚)	出願前3か月以内に撮影したもの 上半身正面脱帽(縦3cm×横2.5 cm)、裏面に氏名を記入し、1枚は入学願書に貼ること。
入 学 検 定 料	40,000円 郵送の場合は、現金書留で送付すること。
受 験 票 送 付 返 信 用 封 筒	受験票の郵送を希望する者は、定形封筒に宛先を明記し、定形郵便・速達・簡易書留料金を含む切手を貼ったものを同封すること。
在職又は 就業見込証明書	社会人特別選拔出願者について、事業主等が証明するもの(様式任意) ただし、就業見込証明書は入学式以降に在職証明書の提出をもって代用可
英 語 試 験 の 公 式 認 定 証 (写) (注 4)	認定日が出願日から遡り3年以内のもの 外国語(英語)試験免除対象者のみ提出

(3) 出願書類の提出先

〒020-8505 盛岡市内丸19番1号

岩手医科大学歯学部教務課 (019-651-5111 内線 #4118)

4. 試験期日および試験会場

＜一般選抜＞

期 日	区 分	試 験 科 目	時 間	試験会場
前 期:令和 8 年 10 月 23 日(金) 後 期:令和 9 年 3 月 16 日(火)	筆記試験 (注 1、2)	外国語(英語)	9:00～10:50	歯学部 4 階 第 1 講義室
		第一志望学科目	11:00～12:30	
		第二志望学科目	13:30～15:00	
	面接試験 (注 3)		13:30～	歯学部

- [注意] 1. 試験当日は、午前8時45分までに試験会場に集合すること。
 2. 外国語(英語)は、辞書の持込みを認める。(ただし、電子辞書は不可)
 3. 面接試験は志望する専攻学科目(第一志望)について行うが、第二志望のある者は第二志望学科目試験終了後に面接を行う。
 4. 下記スコア(認定日が出願日から遡り 3 年以内)を所持する者は、公式認定証、スコアシートの写しを出願書類と併せて提出することにより外国語(英語)試験を免除する。
 TOEIC 550 以上 または TOEFL iBT 50 以上 または英検(実用英語技能検定)2 級以上

＜社会人特別選抜＞

期 日	区 分	試 験 科 目	時 間	試験会場
前 期:令和 8 年 10 月 23 日(金) 後 期:令和 9 年 3 月 16 日(火)	筆記試験 (注 1、2)	外国語(英語)	9:00～10:50	歯学部 4 階 第 1 講義室
		第一志望学科目	11:00～12:30	
		小論文	13:30～14:30	
	面接試験 (注 3)		14:40～	歯学部

- [注意] 1. 試験当日は、午前8時45分までに試験会場に集合すること。
 2. 外国語(英語)は、辞書の持込みを認める。(ただし、電子辞書は不可)
 3. 面接試験は志望する専攻学科目について行う。
 4. 下記スコア(認定日が出願日から遡り 3 年以内)を所持する者は、公式認定証、スコアシートの写しを出願書類と併せて提出することにより外国語(英語)試験を免除する。
 TOEIC 550 以上 または TOEFL iBT 50 以上 または英検(実用英語技能検定)2 級以上

5. 受 験 票

受験票は、必ず試験場に持参すること。

6. 合格者の決定と発表

- (1) 合格者の決定 筆記試験、面接試験、成績証明書及び志望理由書を総合して判定する。

(2) 合格者の発表

前 期	令和 8 年 1 1 月 5 日 (木)
後 期	令和 9 年 3 月 2 4 日 (水)

各日も歯学部掲示板に掲示するほか、本人には、合格通知書及び入学手続書類を送付する。

7. 学 納 金

授 業 料	425,000 円	年額
施設整備費	300,000 円	入学時のみ。(本学卒業生は免除する)

- (1) 入学年度の授業料は、初回(入学手続時)と二回目に分割納入することができる。
 (2) 次年度以降の授業料については、二回に分割納入することができる。
 (3) 授業料分割納入の場合は初回 512,500 円(施設整備費を含む)、二回目 212,500 円を納入する。

8. 入学手続

合格者は、下記の期間において、学納金を納入の上、入学手続書類を歯学部教務課に提出すること。

前 期	令和8年11月 5日（木）～11月11日（水）
後 期	令和9年 3月24日（水）～ 3月30日（火）

9. 奨学金制度

日本学生支援機構大学院奨学金	月額 122,000 円
岩手医科大学大学院奨学金	月額 25,000 円

10. 受験上の合理的配慮について

本研究科に入学を志望する方で、病気や障がい等のために受験上の配慮を必要とする場合は、出願前に歯学部教務課へご相談ください。建設的な対話を通じて、配慮内容を決定いたします。なお、ご要望にお応えできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

11. その他

- （1）受理した出願書類及び入学検定料は、いかなる事由があっても返還しない。
- （2）入学試験に関する照会及び入学願書の請求は、歯学部教務課宛に行うこと。郵送により入学願書の請求を行う場合は、必ず返信用封筒（角形2号、宛先明記、定形外郵便・速達料金を含む切手を貼付）を同封すること。
- （3）本学臨床研修歯科医師として社会人入学を志願する者の就業見込証明書については、歯科医師臨床研修に関する誓約書（写し）をこれに代えることができる。
- （4）出願に際し提出された個人情報については、機密保持の基準にしたがって厳格に取り扱い、合否の判定にかかわること、合格通知の発送、入学後の学籍情報以外の目的には使用しない。
- （5）前期試験に合格し入学手続きを完了（学納金納入）後、やむを得ず入学を辞退する場合は、納入金を返還しますので、令和9年3月30日（火）午後5時までに「入学辞退届」と「学納金等返還願」を提出してください。

岩手医科大学大学院歯学研究科概要

1. アドミッションポリシー

本学大学院学則では「医学、歯学及び薬学に関する学術の理論および応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与することを目的及び使命とする」と謳っています。歯学研究科では、これを踏まえ、高い研究能力と地域医療の実践能力を有する人材の育成を目指しています。

【博士課程】

歯学研究科では、次のような人材を求めています。

1. 先進的な歯科医学に深い探究心がある人
2. 国際的な広い視野に立つ生命科学研究者を志す人
3. 臨床歯科医学の知識や技術を基盤として地域歯科医療の発展に貢献できる人
4. 豊かな人間性を持ち、物事に柔軟な対応ができる人
5. 常に問題意識を持ち、断続的に自学自習のできる人

多様な人材を募るために、一般選抜と社会人特別選抜試験を行います。

選抜試験では、外国語試験によって国際的な研究水準および研究成果の発信に必要な語学力を有することを確認します。さらに、専門試験によって、先進的な研究に必要な専門領域の知識・技能の基礎的な力の有無を判断します。

2. 課程及び修業年限

本研究科に4年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績をあげたと認められた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。

3. 専攻別学科目の代表教員及び指導内容

別表のとおり

4. 履修の方法

学生は、所定の期間内に下記のと通りの各学科目、及び共通必修科目を履修する。

1. 主 科 目 20単位以上（共通必修科目含む）
2. 副 科 目 6単位以上
3. 選択科目 4単位以上

5. 昼夜開講(大学院設置基準第14条による教育方法の特例)による履修及び研究について

近年の社会人の生涯教育への要望に応えるため、社会人が最新の歯科医学の知識・技術を学び、高度な歯科医学研究能力を身に付けることを可能にするため昼夜開講制を採用している。

昼夜開講制とは、夜間（18：00～21：10）や特定の時間（時期）に授業および研究指導の時間を設け、現在地域医療に携わっている開業医や病院勤務医等の社会人が、大学院の授業及び研究指導をより受け易くするための制度である。

- ・臨床研修医は夜間または土曜日の授業（講義・実験および演習等）を受けることになり、1年目は6単位以上を履修することが望まれる。
- ・臨床研修医以外の社会人の授業は、夜間、土曜日及び社会人の多くが休暇等をまとめてとり易い夏季休暇期間等の履修も可能で、年間12単位以上の履修が望まれる。

時 限	授 業 時 間	備 考
1	8 : 5 0 ~ 1 0 : 2 0	通常の授業時間帯
2	1 0 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0	
3	1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0	
4	1 4 : 4 0 ~ 1 6 : 1 0	
5	1 8 : 0 0 ~ 1 9 : 3 0	夜間の授業時間帯
6	1 9 : 4 0 ~ 2 1 : 1 0	

【別表】専攻別学科目の代表教員及び指導内容

専攻別の研究内容は本学ホームページをご覧ください。

(<https://www.iwate-med.ac.jp/research/daigakuin/dent/kouza-bunya/>)

専攻別学科目名・ 代表教員名	指 導 内 容
口 腔 解 剖 学 藤 原 尚 樹 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 5842) e-mail naokif@iwate - med. ac. jp	免疫組織化学、分子生物学的手法、行動解析を用いた遺伝子改変マウスの病態解析、さらに学内外の共同研究への参画を通じて、ウイルスベクターによる遺伝子導入、トランスクリプトーム解析、プロテオーム解析、3次元イメージングなどの先端技術について指導する。形態学を基礎として分子・細胞レベルでの生命原理の解明に必要な実験データの解釈力、論文検索を通じた情報収集力、学会でのプレゼン能力、外部資金獲得のための申請書作成能力、論文執筆能力とともに、研究者に必要な基礎的な能力を習得できるよう指導を行う。
口 腔 組 織 学 原 田 英 光 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 5881) e-mail hideha@iwate - med. ac. jp	● 組織培養、細胞培養、特にiPS細胞を用いた歯・口腔組織の発生・再生医学研究の基本技法を指導する。 ● 発生学的手法、分子生物学的手法、免疫組織化学、蛍光イメージング、オミックス解析、電子顕微鏡による超微細構造解析を用いて、細胞や組織がどのように作られ、どのように異常を生じるのかを理解する力を育成する。 ● 実験計画、正確な実験操作、データの解釈、客観的な考察など、研究に必要な基礎的な力と心構えをともに学ぶ。 基礎研究の成果を疾患の病因理解、新しい治療法の開発、再生医療、創薬研究へ展開する視点を養い、臨床医または基礎研究者を目指す大学院生のキャリアに応じた指導を行う。
口 腔 生 理 学 黒 瀬 雅 之 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 5692) e-mail kurose@iwate - med. ac. jp	電気生理学的手法、免疫組織化学染色法、遺伝子改変マウスを用いた行動解析、さらには最先端の情報工学的手法などを併用し、分子・細胞レベルから個体レベルにまで及ぶ研究を展開しています。生体内における感覚情報が、運動機能や高次脳機能の発現において果たす役割を解明するとともに、疾患や加齢などの病態時において、それらのシステムがどのように影響を受け変化するかを包括的かつ深く理解できるよう指導します。 日々の講義や実習においては受動的な学びにとどまらない双方向性を極めて重視しており、セミナーや実験の場でも積極的にディスカッションの時間を導入しています。これにより、自らの仮説を論理的に構築する自発的な思考力を養うとともに、社会で広く通用する質の高い議論の能力を培います。
口 腔 生 化 学 石 崎 明 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 5740) e-mail aishisa@iwate - med. ac. jp	細胞培養技術、生化学的手法、分子生物学的手法、プロテオーム解析法などの実験指導をする。また、研究に必要な情報を得るためのバイオインフォマティクス(生物情報科学)についても指導する。 その結果、大学院修了時には、各自が独立して研究を立案・進行できる力を身につけていただくことを目標にする。 また、大学院修了後も、臨床や基礎の現場で最先端の歯科研究に興味を持ち、独自の研究を続けていけるように指導していく。

専攻別学科目名・ 代表教員名	指 導 内 容
口 腔 病 理 学 入 江 太 朗 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 5900) e-mail tarou@iwate - med. ac. jp	遺伝子改変マウスの作製、遺伝子改変マウスを用いた時期・組織特異的遺伝子発現調節による腫瘍初期組織発生のイメージング、超微細構造学的解析、細胞培養法、分子細胞生物学的手法、オミクス解析と生物情報学的解析などを併用した研究指導を行う。生物情報学的解析により得られたデータについては分子細胞生物学的な機能解析と合わせて、実際のヒトの外科病理検体を用いた検証を行う。その際に必要な病理組織診断の知識についても理解させ、臨床や基礎の現場で病理学を活かすことの面白さを理解できることを目標とした指導を行う。
口 腔 微 生 物 学 石 河 太 知 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 5803) e-mail tishikaw@iwate - med. ac. jp	細菌が産生する生理活性物質や酵素の精製、性状解析を細菌学および生化学的手法で行い、また、それら細菌由来ビルレンス因子の生体への応答性を培養細胞や実験動物を用いて遺伝学的、免疫学的手法および分子生物学的手法といった種々のアプローチ法を駆使して研究指導を行う。その過程において、データのまとめ方、論文執筆、情報収集の方法なども共に考えながら、研究者として続けていけるよう指導する。
歯 科 薬 理 学 中 村 正 帆 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 5811) e-mail tadahonk@iwate - med. ac. jp	以下の内容を修得できるよう、それぞれの大学院生に最適な指導内容と支援方法を提供する。 ・研究対象とする神経伝達物質や神経細胞が、どのような神経回路を構成し、どのように生体の行動を制御しているのかを解析するために、行動薬理学、化学遺伝学、光遺伝学的方法を修得する。 ・遺伝子組み換え動物実験に関わる生化学的、組織学的、生理学的、動物実験学の基礎的実験方法や、microinjectionなどの手術手技を修得する。 ・先行研究から研究テーマを決定する、データを適切に管理し解析する、抄録を作成し学会で発表する、論文を執筆し投稿する、競争的研究費に申請するなど、研究遂行に必要な基盤を修得する。
歯 科 理 工 学 武 本 真 治 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 5760) e-mail takemoto@iwate - med. ac. jp	日常の歯科臨床に用いられる歯科材料や器械の特性を理解するために、様々な分析機器を用いて分析を行う。また、新規の歯科材料、生体材料の開発には、それらの力学的、物理的、化学的、生物学的性質を調べる方法を理解する必要がある。そのための機器分析学的評価手法(分光分析、電子顕微鏡観察、材料強度試験)、歯科生体材料調製法(合金調製、有機高分子材料合成、表面分子修飾)、細胞培養試験法、動物実験法などについて、実験・実習を中心に指導するとともに、学術情報の収集の仕方、科学論文の書き方についても指導する。
法歯学・災害口腔医学 熊 谷 章 子 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 5684) e-mail kumagaia@iwate - med. ac. jp	科学的根拠に基づく犯罪捜査への協力、身元不詳者の個人識別、更には災害時対応等を正確かつ適切に実施するため、基礎・臨床歯科医学を基盤に日本のみならず海外でも通用する成果を生み出すことを理念としている。そのための基本的な科学的実験方法の習得、日々進化するデジタル技術を取り入れた研究の遂行、適切な統計解析を行う知識、それらを解説できる能力を身に着けることで、諸外国の研究者とも交流できる人材を育むことを目標に指導を行う。

専攻別学科目名・ 代表教員名	指 導 内 容
予 防 歯 科 学 (含 高度臨床歯科医 育成コース) 佐 藤 俊 郎 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 #4516) e-mail toshiros@iwate - med. ac. jp	得られたデータからデータセットの作成、記述疫学的分析から仮説を探索し、統計学的解析により仮説を立証するプロセスを修得するよう指導する。 岩手県特産の農水産物の口腔保健に対する機能性評価に関するプロジェクトに参加する。また、微生物学的解析手法は微生物学講座分子微生物学分野の指導を受ける。 歯科外来、医科病棟における口腔ケアならびにカンファレンス等に参加させ、周術期患者管理の手法の修得ならびに、重篤な口腔粘膜炎症症に対する要因解析のための研究倫理、細菌学的検討法、統計学的分析法を指導する。大学院生が選択した研究テーマに応じ、研究課題について高度な研究手法ならびに文献研究手法を指導する。
歯 周 療 法 学 (含 高度臨床歯科医 育成コース) 佐々木 大輔 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 #4523) e-mail daisukes@iwate-med. ac. jp	●研究 歯周病の病態解明、歯周組織再生、歯周病と全身疾患との関連を主な研究課題とし、細胞培養、遺伝子・タンパク質解析、動物実験、臨床疫学研究などの手法を用いた研究を指導する。研究計画の立案、倫理申請、データ収集・統計解析、学会発表、論文の作成までを段階的に指導し、課題を設定して研究を遂行できる能力を養成する。 ●臨床 歯周病の診断、治療計画の立案、歯周基本治療、歯周外科治療、歯周組織再生療法、口腔機能回復治療、メインテナンスもしくはSPTに至る一連の歯周治療を実践的に指導する。症例検討、診療記録の整理、学会発表および症例報告の作成を通じて、科学的根拠に基づく臨床判断力を養い、日本歯周病学会認定医・専門医の取得に必要な臨床能力を育成する。
う 蝕 治 療 学 (含 高度臨床歯科医 育成コース) 野 田 守 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 #4233) e-mail nodam@iwate - med. ac. jp	● 研究 上記について、実験計画立案、実験手技、データ解析、学会発表資料作成及び発表、並びに論文作成を指導します。修了時に自身で研究を計画立案、実践および論文発表が行えることを目標とします。 ● 臨床 (1) 指導医のもとで、心疾患患者の周術期口腔管理を体験し、全身状態の把握、リスク管理を考慮して歯科治療計画を立案し実践できる。 (2) 総合歯科外来での診療により、有病高齢者における総合歯科診療を実践力が習得できる。
口 腔 外 科 学 (含 高度臨床歯科医 育成コース) 山 田 浩 之 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 #4426) e-mail yamadah@iwate - med. ac. jp	光学顕微鏡、電子顕微鏡の標本作製および観察、免疫組織化学、イメージング技法、分子生物学的手法、Tissue engineering 技術などについて指導する。あわせて、口腔外科の診断学ならびに治療学を教授する。

専攻別学科目名・ 代表教員名	指 導 内 容
冠橋義歯・ 口腔インプラント学 (含 高度臨床歯科医 育成コース) 今 一 裕 TEL 019 - 613 - 5111 (内線#4441) e-mail kazukon@iwate-med.ac.jp	1年次から4年次まで継続した臨床の指導を行う。クラウンブリッジ、インプラント、顎顔面補綴、スポーツ歯科、審美歯科、デジタル歯科まで、幅広く補綴関連臨床を学べるような指導体制をとっている。さらなる専門性の深化を目的として、より高度な専門的補綴歯科臨床についても希望に応じて指導する。 - 上述の課題に関連した研究計画・研究方法の知識と技術、研究成果の口頭発表、学術論文の書き方について指導する。海外での研究成果発表も支援する。 - さらに、補綴歯科臨床に直結した研究を目指す視点から、臨床面での診断能力、治療技術の向上と専門医の取得に向けた指導をする。
有床義歯・ 口腔リハビリテーション学 (含 高度臨床歯科医 育成コース) 小 林 琢 也 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 #4418) e-mail kobataku@iwate-med.ac.jp	大学院1年次から4年次まで、一貫した臨床指導を行う。 高齢者における失われた組織・器官の形態再建(義歯治療)ならびに咀嚼・嚥下機能の維持・向上に関する歯科臨床の実践を通じて、専門性のさらなる深化を図る。加えて、多職種との緊密な連携を基盤とした高齢者歯科臨床について指導するとともに、専門医の取得に向けた継続的な支援を行う。 また、臨床現場における疑問を臨床研究のテーマとして捉え、研究計画の立案から研究成果の口頭発表、学術論文の作成に至るまで、研究者として必要な基本的能力を指導する。 大学院修了時には、自ら独立して研究および臨床を遂行できる能力を身につけることを目標とする。
歯 科 矯 正 学 (含 高度臨床歯科医 育成コース) 佐 藤 和 朗 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 #4533) e-mail kazsato@iwate-med.ac.jp	研究に関連した電気生理学的手法(咀嚼筋筋電図法)、下顎運動記録法、下顎頭運動記録法、非接触型三次元計測法、歯の移動メカニズムの広範囲な知識などについて指導する。
歯 科 放 射 線 学 (含 高度臨床歯科医育成 コース) 泉 澤 充 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 #4513) e-mail mizumisa@iwate-med.ac.jp	単純エックス線撮影から、核医学、CT、MRI、超音波検査まで総合的な画像診断および解析の手法の指導。ROC解析など、診断精度評価に関連する統計学的手法についても指導する。 また、深層学習などを用いた新たな画像解析手法のトレンドの調査、および公開リソースを用いた応用手法を指導する。

専攻別学科目名・ 代表教員名	指 導 内 容
小 児 歯 科 学・ 障 害 者 歯 科 学 (含 高度臨床歯科医 育成コース) 熊 谷 美 保 TEL 019 - 613 - 7111 (内線 6343) e-mail mkumagai@iwate - med. ac. jp	[研究] 実験計画、実験方法、データ解析、学会発表および論文作成を指導する。大学院修了時には、自身で研究計画・立案、実験遂行および論文作成が行えることを目標とする。 [臨床] 日本小児歯科学会専門医、日本障害者歯科学会認定医の資格取得を目標に実践的な小児歯科治療、障害者（児）歯科治療について指導する。
歯 科 麻 酔 学 (含 高度臨床歯科医 育成コース) 佐 藤 健 一 TEL019 - 651 - 5111 (内線 #4329) e-mail satoken@iwate - med. ac. jp	電気生理学的手法(Ca²⁺イメージング法、Ca²⁺蛍光強度比測定法など)のほか、筋張力同時測定法、および電極法による一酸化窒素(NO)測定法を指導する。 生体情報監視装置(脳O₂含量測定、BISモニター、血圧・心電図モニター、呼吸モニターなど)を用いた臨床研究法を指導する。 脳活動への麻酔薬の作用に関して脳機能MRIを用いる研究法を指導する。
歯 科 内 科 学 千 葉 俊 美 TEL 019 - 651 - 5111 (内線 #4435) e-mail toshiba@iwate - med. ac. jp	高齢化社会に特有な口腔機能と全身疾患の関連について理解する。嚥下と食道運動機能のメカニズムや疾患発生および薬剤代謝に関わる分子生物学的解析を習得する。また、循環器疾患のリスク評価のための心電解析の手法と歯科医療での意義を習得する。大学院修了時には、各自が独立して研究を立案・進行できる力を身につけることを目標とする。